



公益・正大・誠実

NO.
53

2023 JANUARY

協会ニュース

2023 きれいな水を未来へ



熊本県知事指定検査機関

公益社団法人 熊本県浄化槽協会
〒861-3107 上益城郡高島町上仲間227番地B6(高島リバーサン内) TEL (096) 284-3355

ごあいさつ



令和5年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

当協会の運営に関しまして、平素より格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が依然として猛威をふるっていますが、過去2年間の経験を踏まえ、社会経済活動はできる限り止めないという方針で対応がなされています。

世界に目を向けても、様々な分野での活動が再開されています。昨年のサッカーワールドカップカタール大会では、日本代表の選手たちが、優勝経験国のドイツ、スペインに勝利するという快挙を成し遂げ、日本人選手が世界でも戦えるという新しい世界を見せてくれました。惜しくも目標のベスト8には到達できませんでしたが、代表選手たちの前向きに、必死にプレイする姿は頼もしく、心を打たれました。

当協会においては、昨年12月に、懸案となっていた分析室の自動BOD測定システムの更新を終え、BOD測定の安定的な環境整備とともに業務効率を改善することが出来ました。今後とも、作業安全の向上、IT化への対応をはじめとする効率化、人材育成等、当協会業務の改善に向け一歩一歩前進して参る所存です。

また、浄化槽を巡っては、法定検査の受検率向上をはじめ、合併処理浄化槽への転換助成、省エネ型浄化槽システム導入推進事業の推進、行政機関・関係団体等による協議会の設置等、多くの課題があります。行政機関・関係団体・会員の皆様と協力しながら解決につなげ、持続可能な社会の実現に努めて参ります。

本年、当協会は、創立50年・公益法人移行15年の節目の年を迎えます。

これもひとえに会員の皆様をはじめ担当行政機関や関係団体の皆様のご支援とご協力、また、長年、当協会運営に携わってこられた皆様のご尽力によるものと深く感謝申し上げます。これを記念して、11月に式典を予定しております。これまでの当協会のあゆみを振り返るとともに、これからの方々の発展、熊本の水環境の向上に寄与する機会にできればと考えております。

引き続き皆様のご支援とご協力をお願い致します。

最後に、皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 熊本県浄化槽協会
会長 森田 和博

令和4年度 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰

令和4年度の環境大臣表彰授賞式が、令和4年10月3日（月）ホテルグランドヒル市ヶ谷（東京都）にて執り行われました。

本年度の受賞者は次の方々です。

山下 龍二 様（天草支部 ㈲山下総合設備）
石崎 哲彦 様（人吉支部 ㈲はと衛生社）
岩本 房耕 様（熊本支部 ㈲旭清掃社）



山下 龍二 様



石崎 哲彦 様



岩本 房耕 様

□循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰実施要領より

浄化槽の設置、保守点検、清掃又は製造等の事業に従事し、浄化槽によるし尿及び雑排水の適正処理の推進若しくは、浄化槽の普及又は浄化槽の機能の向上に顕著な功績のあった者又は、浄化槽によるし尿及び雑排水の適正処理の推進に関する公益法人等において当該事業の向上及び発展に顕著な功績のあったもの。

令和4年度環境整備功労者知事表彰（浄化槽関係）の受賞決定

令和4年度の知事表彰の受賞者が決定致しました。表彰式は令和5年2月7日（火）に県庁知事応接室で行われる予定です。

田中 和徳 様（熊本支部 株HACCYOU）
高原 和彦 様（山鹿支部 ㈲山鹿浄化槽管理センター）
大谷 啓之 様（御船支部 ㈲大谷清掃公社）
碇山 一憲 様（八代支部（協業）八代清掃公社）
川崎 清正 様（熊本支部 川崎設備有）
原田 幸信 様（熊本支部 ㈲宮崎清掃社）

□熊本県（環境整備功労者）知事表彰実施要項より

浄化槽の普及又は向上と業界の指導育成に特に功績のあった者で、その従事歴が10年以上であるもの。

令和4年度 浄化槽補助金等市町村担当者説明会

8月4日（木）、熊本県庁地下大会議室において、熊本県下水環境課主催による「令和4年度（2022年度）浄化槽補助金等市町村担当者説明会」が開催され、市町村・保健所等から58名の出席があり、協会からは4名が参加しました。

下水環境課からは、浄化槽補助金（国庫・県費）、市町村所有単独浄化槽の転換促進、浄化槽に関する各種手続き及び浄化槽の維持管理、令和2年7月豪雨からの復旧復興プランに係る関係市町村からの意見聴取について説明がありました。

協会からは、「熊本県浄化槽協会（指定検査機関）の概要及び浄化槽法における浄化槽の水質に関する検査（法定検査）について」と題し、令和3年度の法定検査の実施状況報告、令和3年度の法定検査や周知啓発の取り組みや未受検者対策、年度別不適正浄化槽の状況等について説明を行いました。



平成29年から令和3年度の検査基数の推移

和暦（西暦）	H29（2017）	H30（2018）	R1（2019）	R2（2020）	R3（2021）
水質検査依頼書数	合計（年度末）	2,884	2,811	2,518	2,310
7条検査実施数	合計（年度末）	2,529	2,681	2,761	2,477
	単独	53,779	52,224	51,663	50,935
11条検査実施数	合併	80,366	82,631	84,747	86,481
	合計（年度末）	134,145	134,855	136,410	137,416
検査基数と検査率	11条 単独	24,731	24,281	24,354	24,093
	単独 受検率（%）	46	46.5	47.1	47.3
	11条 合併	62,825	64,686	66,165	67,507
	合併 受検率（%）	78.2	78.3	78.1	77.4
	11条 合計	87,556	88,967	90,519	91,600
	合計 受検率（%）	65.3%	66.0%	66.4%	66.7%
	備考				R2年7月豪雨

*11条検査対象基数=当年度未設置基数-当年度新設基数-前年度新設基数×11/24(県浄化槽台帳管理システムより環境省が示した算出方法により算出)

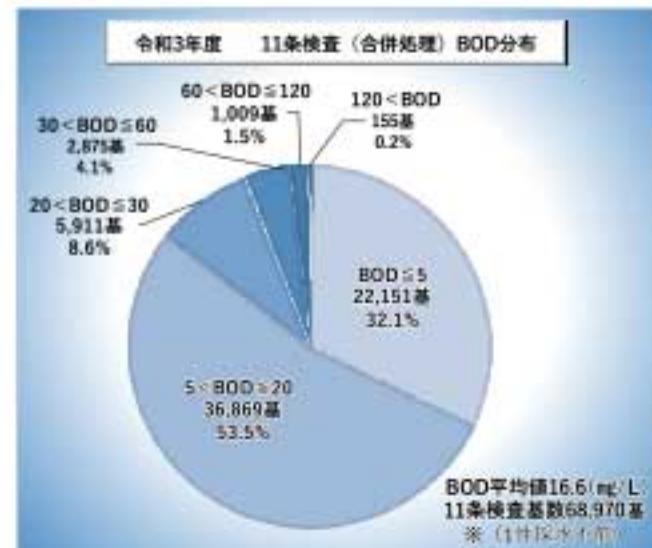
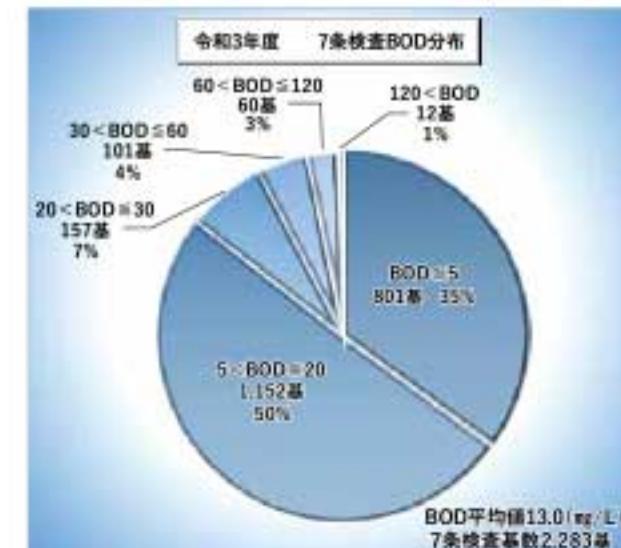
*受検率=当年度11条検査実施数/11条検査対象基数(県浄化槽台帳管理システムより環境省が示した算出方法により算出)

令和3年度 合併処理浄化槽のBOD分布

令和3年度の合併処理浄化槽のBOD値の分布は以下の通りです。

7条・11条ともに全体の約86%が浄化槽からの放流水の水質基準(BOD20mg/L以下)を満たしています。

令和3年度 7条および11条検査における合併処理浄化槽 放流水のBOD分布



法定検査の判定について

11条検査における総合判定の基準をより明確化するため、維持管理委員会及び理事会において検討整理が行われ、下表のとおり決定しました。令和5年4月1日から運用されます。

判定一覧表

- 外観検査に問題がなく、保守点検の実施がある場合において、清掃期間と水質(BOD・透視度)の判断と判定
- 「イ」は適正、「口」はおおむね適正、「ハ」は不適正

水質(BOD・透視度)		清掃期間 ※1		
		(1)1年以内 ●設置者の責めに帰 さない事案がある 場合下記参照	(2)1年超え2年以内	(3)2年超え
BOD	透視度	良	不可	不可
良	良	イ	口(ハ)※3	ハ
	可	イ	口(ハ)※3	ハ
	不可	イ	口(ハ)※3	ハ
可	良	イ	口(ハ)※3	ハ
	可	イ	口(ハ)※3	ハ
	不可	口※2	ハ	ハ
不可	良	口※2	ハ	ハ
	可	口※2	ハ	ハ
	不可	口※2	ハ	ハ

【法定検査での清掃の回数(清掃期間)についての運用】

- 浄化槽管理者の責めに帰さない事案により清掃が遅れている場合、1年2か月以内を「良」と判断する。
書類検査では、法定検査実施日以前1年間に清掃が行われたものを、清掃の回数の「良」とする。
清掃の年月日が確認できたものはその日から、年月のみが確認できたものは1年後の同月迄、1年と判断する。
- ※1 全ばっ気方式の判定については、表の(1)の期間を6月以内、(2)の期間を6月超え1年以内、(3)の期間を1年超えと読み替える。
- 浄化槽管理者の責めに帰さない事案により清掃が遅れている場合、7月以内を「良」と判断する。

【おおむね適正(口)と判定するもの】

- ※2 水質に異常があるもの(BODが「可」で透視度が「不可」、又は、BODが「不可」)
浄化槽管理者へは、水質検査に異常が認められることから、結果書にその内容を記載し注意喚起をする。
- ※3 清掃が1年を超えて2年以内であり、水質に異常がないもの(BODが「良」、又は、BODが「可」で透視度が「良」「可」)
浄化槽管理者へは、清掃が超過していることから、結果書にその内容を記載し注意喚起をする。

【不適正(ハ)と判定するもの】

- ・清掃が1年を超えて2年以内であっても、水質に異常があるもの(BODが「可」で透視度が「不可」、又は、BODが「不可」)
- ・浄化槽管理者が清掃をしないと意思表示しているため、清掃が2年を超えて行われない見通しである場合
- ・清掃が2年を超えているもの

熊本県の令和5年度当初予算について

自民党熊本県連に対して浄化槽に関する令和5年度の予算要望、浄化槽の課題の現状等について、次の内容の要望を行いました。

1. 公共浄化槽の設置推進等

熊本県における浄化槽はほとんどが個人設置型で、市町村設置型の浄化槽を設置した市町村で負担が大きいことを理由に個人設置型に移行している市町村もあります。

生活排水による生活環境や公衆衛生の悪化を防ぐためには、浄化槽も下水道と同様に、市町村等の公共による設置・管理を行うべきであると考えます。つきましては、市町村による公共浄化槽の整備が進むよう更なる施策の強化や財政的支援の充実を要望します。

2. 既存単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換の促進

熊本県内には50,277基(令和3年3月末現在)の「単独処理浄化槽」が残り、「合併処理浄化槽」への転換がなかなか進まない状況にあります。その打開のため、転換補助の補助制度の拡充等の更なる取組みを要望します。

3. 維持管理費用の助成制度の創設

市町村による公共浄化槽が進まない中、多くの浄化槽の維持管理は個人が担っているが、法定検査の受検率は7割弱にとどまるなど、適正な管理が行われているとは言い難い状況にあります。維持管理に係る個人負担を軽減するための助成制度の創設と市町村への財政支援を要望します。

浄化槽フォーラム・熊本inみさと 開催

10月26日(水)美里町「美里町文化交流センター ひびき」において、令和4年度「浄化槽フォーラム・熊本inみさと」を熊本県浄化槽普及促進協議会との共催により開催しました。冒頭の熊本県浄化槽普及促進協議会会长(美里町長上田泰弘)様の主催者挨拶に引き続き、3つの講演が行われました。

当日は、市町村長、県・保健所・市町村の浄化槽担当者、浄化槽関係業界・団体等を併せ140名の参加がありました。

講演1 「浄化槽法及び関係法令」

講師 全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 久川和彦 氏

講演2 「最近の浄化槽行政の動向について」

講師 全国浄化槽推進市町村協議会 事務局長 久川和彦 氏

講演3 「法定検査の現状」

講師 (公社)熊本県浄化槽協会 法定検査部 部長 坂口頼曉



令和4年度 地域(保健所)別連絡会議

令和4年度の地域(保健所)別連絡会議が3年振りに開催されました。

この会議は、行政、会員、協会が一堂に会し浄化槽に関する意見の交換や情報の共有を目的に毎年開催されるものです。

会議では、行政機関から浄化槽の整備状況等に関する情報提供があり、その後活発な意見交換が行われました。

なお、一部の支部では新型コロナの感染状況等により開催が中止されました。

【情報提供等】

(熊本市を除く支部)

1) 浄化槽の整備状況等について

2) 浄化槽における課題への対応について

(熊本支部)

1) 熊本市における浄化槽行政について

【検討及び意見交換】

1) 災害により被災した浄化槽への対応について

【行政機関からの協会及び業界への要望・意見等】

【報告事項】

① その他法定検査実施状況報告について

② 未受検者への受検勧奨について

③ 浄化槽の放流水質について

④ 令和4年度浄化槽技術講習会について

⑤ 省エネ型浄化槽システム導入推進事業について

⑥ その他



【開催状況】

支部	開催日	開催場所
熊本	11月 7日(月)	熊本ホテルキャッスル
有明		
山鹿	11月11日(金)	司ロイヤルホテル
菊池		
阿蘇		
御船	11月18日(金)	通潤山庄
宇城		中止
八代		中止
水俣		中止
人吉		中止
天草		中止

各種イベントに参加

協会では、浄化槽に関する普及・啓発活動の一環として、県内市町村で開催される各種イベントにブースを出展し、地域の方々への情報発信に努めています。イベントでは、パネルの展示、パンフレットの配布や浄化槽についてのアンケート調査を各支部や行政機関と連携しながら実施しております。

令和4年9月からの12月までの各種イベントの参加状況は、以下の通りです。

イベント名	開催日	開催場所
合志市民まつり	11月 6日(日)	熊本県農業公園カントリーパーク
みなまた産業団地祭り	11月12日(土)	水俣産業団地
くまもとお仕事探検フェア	12月13日(火)	益城町 グランメッセ



(合志市民まつり)



(みなまた産業団地祭り)



(くまもとお仕事探検フェア)

熊本県における「浄化槽システムの脱炭素化推進事業」について

(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)

本事業は、浄化槽分野における脱炭素化の推進に向けて、既設合併処理浄化槽に係る高効率な機械設備等への改修、又は先進的省エネ浄化槽への交換、再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入に要する経費の一部(1/2)を補助することで、地球温暖化を抑制するとともに、浄化槽の長寿命化を図り、地球環境保全及び生活環境の保全に資することを目的としたものです。

令和4年度の熊本県における事業の実施状況は、会員等のご協力のもと以下のとおりでした。

1. 交付決定状況

(1) 高効率機器への改修事業

(令和5年1月6日現在)

事業要件	改修内容	交付決定	金額(円)	施設用途	設置場所
(1)	プロワ等交換		4,000,000	作業所	甲佐町
(1)	プロワ等交換		490,000	宿泊施設	南小国町
(1)	プロワ等交換		495,000	宿泊施設	南小国町
(1)	プロワ等交換		625,000	宿泊施設	南小国町
(1)	プロワ等交換		780,000	宿泊施設	南小国町
(1)	プロワ等交換		1,565,000	娯楽施設	天草市
合計			7,955,000		

○令和4年度 交付決定額 合計 ¥7,955,000円 (令和4年度申請受付は終了)

11条検査受検勧奨の実施

協会は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的に、関係行政機関と連携し維持管理関係団体や会員の協力を得て、11条検査の受検勧奨に取り組んでおります。

受検勧奨は、担当行政機関と協会の連名で文書の発送や市町村担当者との同行訪問での説明を行い、浄化槽管理者の義務である保守点検、清掃、法定検査について改めて周知するとともに、浄化槽管理者の不公平感の解消を目的として毎年実地しています。

また、受検勧奨による浄化槽管理者からの情報は、浄化槽の利用状況等の把握につながり、熊本県浄化槽台帳管理システムの精度向上を図ることになります。

熊本の貴重な水資源を次の世代へ守り残すためにも、適正な保守点検及び清掃の実施と11条検査(定期検査)の受検率向上と啓発に今後も努めて参ります。

令和4年度の進捗状況は別表のとおりです。

受検勧奨市町村別対象基数等(進捗状況)

※令和5年1月5日現在

R4年度			実績																																	
保健所 町町村	未受検者数(対象数)		対象 予定	受検登録 完了日 (予定)	R3年度			R4年度実施基準			登録数			登録率			申込数			返却数			返却率			実行状況										
	合計	単			合	合計	単	合	合計	単	合	合計	単	合	合計	単	合	合計	単	合	合計	単	合	合計	単	合	合計	件数	当日検査	後日依頼	計					
熊本市	7,837	4,842	2,995	100	(2月)	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
鹿児島市	345	157	188	100	1月30日	184	100	29	72	0		0	1.0%	0.0%	0.0%	0		0		0		0	1.0%	0.0%	0.0%											
五名市	1,471	813	658	900	(2月)	905	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
玉東町	395	192	203	200	(2月)	240	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
南陽町	181	74	87	100	(2月)	88	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
長洲町	36	32	4	9	12月31日	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0		12月16日	9	0	0	0					
和水町	361	38	322	377	12月29日	185	171	35	155	5	1	4	2.9%	6.3%	2.8%	1	1	1	6	1	5	1.5%	6.3%	3.2%												
山鹿市	744	343	400	350	(2月)	363	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
都城市	955	673	288			0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
合志市	36	79	7	50	(2月)	50	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
大津町	587	362	235	353	11月31日	388	353	260	153	18	13	5	5.1%	6.5%	1.3%	0	1	0	18	13	5	5.1%	6.5%	3.3%												
菊陽町	46	27	22	38	1月30日	30	24	11	13	0		0	1.0%	0.0%	0.0%	0		0		0		0	1.0%	0.0%	0.0%											
阿蘇市	1,208	448	758	950	(2月)	547	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
飽託町	143	21	122	78	(2月)	71	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
小国町	276	52	225	348	(2月)	141	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
龜山村	71	7	71	58	(2月)	57	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
高森町	279	85	194	368	(2月)	161	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
西原村	526	172	354	229	(2月)	222	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
利河務村	893	190	672			0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
御船町	523	209	314	265	12月31日	313	265	99	196	17	9	8	1.4%	9.1%	4.8%	4	11	4	21	9	12	7.9%	5.2%	7.2%												
直島町	224	117	107	208	1月30日	205	204	183	101	0		0	1.0%	0.0%	0.0%	0		0		0		0	1.0%	0.0%	0.0%											
益城町	188	127	42	298	(2月)	192	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
牛久町	580	325	234	438	(2月)	434	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
山都町	888	296	592	588	1月23日	580	504	123	381	0		0	1.0%	0.0%	0.0%	0		0		0		0	1.0%	0.0%	0.0%											
宇土市	1,127	805	322	738	(2月)	735	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
宇城市	2,422	1,446	976	1,508	1月29日	1,525	1,508	838	670	12	21	11	21%	25%	18%	8	5	3	40	25	34	2.7%	11%	2.3%												
東峰町	241	165	62		(2月)	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
八代市	8,303	6,365	1,918			0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
秋元町	124	90	33	67	12月19日	74	67	43	24	6	4	2	9.0%	9.3%	8.3%	1	1	1	1	4	3	18.4%	9.3%	12.5%												
水俣市	574	323	250	308	1月21日	291	308	137	172	21	7	14	6.8%	5.3%	8.1%	21	11	13	42	15	27	13.9%	10.8%	15.7%												
芦北町	995	538	462	448	(3月)	449	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
鹿屋木村	234	55	173	100	(2月)	181	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
人吉市	982	679	303			0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
鍋町	326	187	138	268	(3月)	262	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
多良木町	233	122	111	148	(2月)	149	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
湯前町	36	23	13	18	(2月)	13	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
水上村	14	8	8		(2月)	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
粗糸村	71	47	24	46	(2月)	47	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
五木村	47	7	40	12	12月1日	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0			12月1日	12	2	0	2				
山江村	35	18	23	28	(2月)	22	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
球磨村	61	7	60	18	1月23日	13	36	4	32	0		0	1.0%	0.0%	0.0%	0		0		0		0	1.0%	0.0%	0.0%											
高千穂町	185	122	38	88	(3月)	87	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
上天草市	1,414	884	530	248	1月23日	243	411	263	208	0		0	1.0%	0.0%	0.0%	0		0		0		0	1.0%	0.0%	0.0%											
天草市	3,488	2,324	1,184	1,108	(3月)	1,184	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
等北町	90	49	45	18	(2月)	0	0		0		0		0		0		0		0		0		0		0											
計	39,783	23,919	15,813	10,294		10,413	3,953	3,866	2,147	99	55	44	2.5%	3.0%	2.0%	35	13	22	134	68	95	3.4%	3.8%	3.3%			23	2	8	2						

浄化槽整備推進関係予算 令和5年度当初予算案の概要(抜粋)

令和4年12月23日
環境省浄化槽推進室

(1)浄化槽整備推進のための国庫助成(循環型社会形成推進交付金)

▶汚水処理人口普及率は令和3年度末で92.6%に達したところであるが、依然として、地方を中心に約930万人の国民がくみ取り槽や単独処理浄化槽を利用し、生活排水が未処理となっている状況。人口5万人未満の市町村における汚水処理人口普及率は82.7%にとどまっており、これらの地域は人口密度が比較的低いと考えられることから、合併処理浄化槽の整備を通じて汚水処理未普及の状態を早急に解消し、水環境の保全を推進していくことが重要。

▷令和5年度予算案においては、政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、改正浄化槽法に基づき合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに公共浄化槽制度を活用した管理向上のための支援に必要となる予算を新たに設置。

▷また、合併処理浄化槽は、災害に強く早期に復旧可能であり、防災・減災、国土強靭化の観点からも、老朽化した単独処理浄化槽やくみ取り槽の合併処理浄化槽への転換促進及び浄化槽の長寿命化を引き続き支援。

○ 循環型社会形成推進交付金(浄化槽分)

市町村の自主性と創意工夫を活かし、健全な水環境や國土強靭化等に資する浄化槽整備を支援。

予算事項	令和4年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額(案)	対前年度比
循環型社会形成推進交付金 (浄化槽分)	(90億円) 86億円	(90億円) 86億円	(100.0%) 100.0%

上段（ ）は、内閣府（沖縄）、国土交通省（北海道、離島）計上分を含めた額

(2) 清化槽整備推進のための国庫助成(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)

►現状、家庭用の小型浄化槽については高効率プロワ等の開発が進み、省エネ化が推進されており、全出荷基数中の約9割が先進的省エネ型浄化槽となっている。一方で、集合住宅、医療施設等に設置されている中大型浄化槽については省エネ化が遅れており、中大型浄化槽の全出荷基数中のうち先進的省エネ型浄化槽の占める割合は約2割にとどまっている。

▶こうした状況を踏まえ、令和3年10月に閣議決定した地球温暖化対策計画において、先進的な省エネ型浄化槽の導入促進について明記するとともに、令和4年度予算において、浄化槽分野における一層の省エネ対策の促進や再生可能エネルギーの導入の推進に向けた補助事業を新規計上したところ。

▶令和5年度予算案においても、引き続き下記の事業を計上し、浄化槽分野の脱炭素化対策を推進する方針である。

○浄化槽システムの脱炭素化推進事業 R5予算(案) 18億円(R4予算額 18億円)

2050年カーボンニュートラル及び2030年度46%削減目標の達成に向けて、エネルギー効率の低い既設の大型浄化槽について、最新型の高効率機器(高効率プロワ等)への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入を支援することにより、浄化槽分野における脱炭素化を推進。

浄化槽の整備（循環型社会形成推進交付金（浄化槽分））

【令和5年度予算（案） 8,613百万円（8,613百万円）】 環境省
【令和4年度第2次補正予算額 500百万円】

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換や公共処理槽の整備促進・管理向上等を支援します。

1. 事業目的

- 現在で約930万人が単独処理浄化槽やくみ取り槽を使用しており、生活排水が未処理となっている状況にある。政府目標である令和8年度の汚水処理施設整備の概成を目指し、改正浄化槽法（令和2年4月施行）に基づき、合併処理浄化槽の整備を加速化するとともに公共処理槽制度を活用した管理向上のための支援を行う。
- また、合併処理浄化槽は、災害に強く早期に復旧可能であり、防災・減災、国土強靭化の観点からも、老朽化した単独処理浄化槽やくみ取り槽の合併処理浄化槽への転換促進及び処理槽の長寿命化を図るための支援を行う。

2. 事業内容

市町村が行う浄化槽整備事業（浄化槽設置整備事業、公共処理槽等整備推進事業）に対して交付金により支援する。令和4年度補正・令和5年度予算では下線部分の追加、見直しを行った。

○環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業（交付率1/2）

単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽（環境配慮型浄化槽に準じる）に事業計画額の6割以上転換する事業

○汚水処理施設改修に向けた浄化槽整備加速化事業（交付率1/2）<RBまでの時間措置>

汚水処理施設改修に向けた浄化槽整備を上回って浄化槽設備を加速化する事業

○都道府県構造及び構造を踏まえ市町村が策定するアクションプランに定める目標

○単独処理浄化槽やくみ取り槽から合併処理浄化槽への転換

浄化槽設置・宅内配管工事、転換時の撤去、単独処理浄化槽の雨水貯留槽等への再利用

○公共処理槽による整備促進・管理向上に向けた事業

対象のPFI方式の見直し（BOO,BOT方式追加）、少人西賀瀬世帯の維持管理負担軽減

○市町村が定める浄化槽長寿化計画に基づく浄化槽の改修事業

○浄化槽整備効率化事業

浄化槽台帳作成、計画策定・調査（特定既存単独処理浄化槽の位置に係る病害等含む）、暫時管理向上・費用低減に資する一括契約等に必要な情報集約・システム構築、請認会等

3. 事業スキーム

- 事業形態 交付率1/3又は1/2
- 交付対象 地方公共団体
- 実施期間 平成17年度～

お問い合わせ先： 環境省 環境再生・資源循環局 汚棄物適正処理推進課 処理槽推進室 電話：03-5501-3155

4. 補助対象・事業イメージ



浄化槽の整備（浄化槽システムの脱炭素化推進事業）

【令和5年度予算（案） 1,800百万円（1,800百万円）】 環境省

浄化槽システムの脱炭素化に向けて、エネルギー効率の低い既設中大型浄化槽への先進的省エネ型浄化槽や再エネ設備の導入を支援します。

1. 事業目的

浄化槽分野における脱炭素化の推進に向けて、エネルギー効率の低い既設の中大型浄化槽について、最新型の高効率機器（高効率プロワ等）への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再生可能エネルギーを活用した浄化槽システムの導入を推進することにより、大幅なCO2削減を図る。

2. 事業内容

中大型浄化槽について、最新型の高効率機器への改修、先進的省エネ型浄化槽への交換、再エネ設備の導入を行うことにより大幅なCO2削減を図る事業を支援する。

①既設の中大型合併処理浄化槽に係る高効率機器への改修

・最新型の高効率機器（高効率プロワ等）への改修とともにプロワ稼働時間を効率的に削減可能なインバータ及びタイマー等の設置を要件とする。

・改修によって当該機器のCO2排出量を20%以上削減（②の再エネ設備導入によるCO2排出量の削減を含む）

②既設の中大型合併処理浄化槽から先進的省エネ型浄化槽への交換

・最新の省エネ技術による先進的省エネ型浄化槽への交換を要件とする。

・交換によって既設浄化槽のCO2排出量を46%以上削減（③の再エネ設備導入によるCO2排出量の削減を含む）

※さらに、規模見直し等により高い削減率を達成するものは優先採択

③中大型合併処理浄化槽への再エネ設備の導入

・上記①又は②と併せて行う再エネ設備（太陽光発電・蓄電池等）の導入を支援する

3. 事業スキーム

- 事業形態 一般補助事業（補助率：1/2）
- 補助対象 民間事業者・団体、地方公共団体等
- 実施期間 令和4年度～令和8年度

お問い合わせ先： 環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課処理槽推進室 電話：03-5501-3155

4. 事業イメージ



自動BOD測定システムを更新しました

自動BOD分析装置の整備事業として、令和4年12月17日から20日にかけて自動BOD測定システムの更新を行いました。

今回導入した3台の自動BOD分析装置は、「DO測定機能付き全自動希釈装置」2台および「土日対応自動BOD測定装置(6ラック型)」1台です。

「DO測定機能付き全自動希釈装置」は、検体の希釈から培養前のDO測定までの工程を自動で行うことができます。BOD測定に必要な検体の量はこれまでの半分となり、検査員が採水して持ち帰る検体の量は500mlから250mlとなりました。

また、測定サンプルも半数となり、容器の洗浄作業等が軽減されました。

「土日対応自動BOD測定装置(6ラック型)」は、最大672検体を無人測定することが可能で、これまでの測定装置(2ラック型)2台のうちの1台と入れ替えを行い、2ラック+6ラックの計8ラック(最大896検体)の培養後の検体を無人で測定するようになりました。これにより、土日、祝日、連休中に無人測定できる検体数はこれまでの2倍となり、分析員の休日出勤を削減するようになりました。



「DO測定機能付き全自動希釈装置」



「土日対応自動BOD測定装置(6ラック型)」

四国地区検査員研修会

9月15日(木)・16日(金)に、2019年以降、コロナ禍で中断されていた四国地区検査員研修会が徳島市の徳島グランビリオホテルにて開催されました。協会からは検査員　末永、佐々田の2名が参加しました。基調講演Ⅰでは「南海トラフ地震に対する防災対策について」と題し、徳島大学環境防災研究センターの湯浅恭史氏が、南海トラフ巨大地震の被害想定と企業が取り組む事業継続計画について、防災はもとより、企業における生き残り戦略が重要であるといったお話をありました。基調講演Ⅱでは、「法定検査判定ガイドラインの解説」があり、検査員間で判定のばらつきが大きい項目をメインに解説され、今後の業務に大きく活かせる内容となりました。

また、四国各県の検査機関からは次の4件の研究法発表が行われ、愛媛県浄化槽協会が最優秀研究を受賞しました。

- 1 ダイエー浄化槽FCE型水質改善調査報告
(公社)徳島県環境技術センター
- 2 大腸菌群数と浄化槽処理水BODに与える影響について
(公社)香川県浄化槽協会
- 3 粒虫剤が浄化槽放流BODに与える影響についての検証結果
(公社)愛媛県浄化槽協会
- 4 新人検査員の事故トラブル軽減の取り組みについて
(一財)高知県環境検査センター



第36回全国浄化槽技術研究集会

10月18日(火)・19日(水)に「第36回全国浄化槽技術研究集会」が愛媛県松山市のANAクラウンプラザホテル松山にて開催されました。当協会からは森田会長他役職員が参加し、全国からは400名ほどの参加がありました。初日は特別講演として「未来のためのデジタルとの向き合い方」と題し、日本情報経済社会推進協会常務理事の坂下哲也氏の講演、その他「日本における浄化槽設置の一般化以前の事例について」や「浄化槽の二次処理装置における大腸菌の消長とその除去特性」など水質改善のための研究や浄化槽普及に係る意識調査に関する発表が12件ありました。2日目は浄化槽行政担当者研究会・浄化槽検査員研究会が行われ、「最近の浄化槽行政について」環境省浄化槽推進室室長の沼田正樹氏の報告、その他、下水道行政の取り組みについての現状や法定検査による浄化槽の信頼性確保についての報告など15件の発表がありました。



九州地区浄化槽検査員研修会

11月18日(金)に令和4年度 九州地区浄化槽検査員研修会が鹿児島市のアートホテル鹿児島にて開催されました。当協会から4名、他の九州地区的検査機関から56名、四国地区的検査機関から8名(計68名)の参加がありました。

会長県である九州地区浄化槽指定検査機関協議会の(公財)鹿児島県環境保全協会事務局長 牧浩一様からの挨拶があり、研究発表と分科会が行われました。

研究発表は九州地区より4つ、四国地区より2つの計6つの研究発表が行われました。愛媛県の発表は、先の第36回全国浄化槽技術研究集会で発表された「家庭用浄化槽における代替好気ろ材の検証」の追加調査内容を踏まえた発表で、活発な質疑応答が交わされました。

その後、九州地区で初開催となった分科会も「検査、水質分析、システム」の3テーマに分かれて行われ、各県の検査機関との違いについて実務レベルで話し合うことができました。各県の課題や取り組み、業務の効率化の状況を共有でき、大変参考となる研修会となりました。



インターンシップの受け入れ

熊本工業高校工業化学科の生徒2名のインターンシップ(就業体験)を10月24日(月)から28日(金)まで受け入れました。

初日に浄化槽に関する講義を受けた後、検査事務課での書類整理や封詰め作業、水質分析課で処理水に含まれる微生物の顕微鏡による観察、BOD測定作業の補助、7条検査・11条検査に同行しての現場実習など、様々な体験をしてもらいました。

5日間という短い期間でしたが、日毎に仕事に取り組む姿勢が真剣になっていく様子にこちらも嬉しく思いました。特に水質分析課の試薬調整の作業に興味を持ったようです。最終日には、「浄化槽について全く知らなかったが、浄化槽で処理した水を見て、浄化槽は生活排水をきれいに出来ることが分かった」、「こちらで体験したことを今後の生活に活かしていきたい。お世話になりました、ありがとうございました。」と、きちんとした挨拶で就業体験をしめくってくれました。



【実習生】
工業化学科2年 田辺 隼斗くん 増田 凜太郎くん



職員研修会の実施

職員の資質向上、安全な法定検査の実施等に向けた職員研修を次の通り実施しました。今後も公益法人職員としての責務を全うし水環境の保全に取り組んで参ります。

日時 令和4年4月8日(金)
講師 労働安全衛生コンサルタント会 和田尚志様
演題 酸素欠乏硫化水素危険防止特別講習

日時 令和4年11月22日(火)
講師 高原和彦様(熊本県浄化槽協会 監事)
演題 「学校では教わらないけど大切なこと(挨拶編)」

日時 令和4年12月27日(火)
講師 御船警察署
演題 安全運転に関する講和

日時 令和4年12月27日(火)
講師 各課職員
演題 研修成果報告等、業務改善事例等について



協会からのお知らせ

入退会情報

入会	令和4年 9月 5日付	株式会社 古屋産業	(阿蘇支部)
退会	令和4年10月 6日付	有限会社 米田建設	(宇城支部)
	令和4年11月24日付	本宮電気商会	(八代支部)

第9回親睦ゴルフ大会開催

令和4年11月30日(水)に宇城市のあつまるレークカントリークラブにおきまして、「第9回親睦ゴルフ大会」が開催されました。当日は、森田会長を始めとする会員の皆様方、総勢31名により行われました。

開会式の後、OUT/INIに分かれ、全18ホールの熱戦がスタートしました。この日は気温も下がり風も強く吹く厳しいコースコンディションでしたが、全員が楽しい雰囲気のなかプレーを終えることができました。結果は藤本和彦氏(前事務局長)の優勝となりました。来年も引き続き開催しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

当日の入賞者は次のとおりです。(ダブルペリア方式)

優 勝	藤本和彦 氏	44・40
準 優 勝	陣内善浩 氏	46・47
第三 位	内野晶子 氏	45・47
ベストグロススコア	川崎清正 氏	38・38



新入職員紹介

渡邊 真也 (わたなべ しんや)



①趣味／特技
趣味はボルダリングです。最近は2週に1回ジムに通っています。
②2023年の抱負
健康的な食事と睡眠をしっかりとって体調を崩さないようにしていきます。
③自己PR・メッセージ
令和4年8月に法定検査部に配属となりました渡邊真也です。9月の浄化槽検査員講習会を修了し、12月から検査員として現場を回らせていただいています。今後も学んでいくことは多くありますが、お客様に信頼していただけるよう誠実な対応と検査を行えるよう精進していきます。

石田 宗一郎 (いしだ そういちろう)



①趣味／特技
趣味はスポーツ観戦です。球技全般好きですが、特にサッカーが好きです。
今年はJリーグに昇格できず残念な結果となりましたが、ロアッソ熊本を応援しています。
②2023年の抱負
検査員として浄化槽に関する知識を深め、正確な検査を行えるように努力していきたいです。
③自己PR・メッセージ
令和4年10月17日に法定検査部に配属となりました石田宗一郎です。
前職は石油製品の技術開発職として関西の方で約9年間働いていました。
配属されてからまた日々が浅く、慣れないといけないこと、覚えないといけないことが多々あると感じています。今後先輩方、関係者の方々に質問させていただく機会も増えてくるかと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

井上 智文 (いのうえ ともふみ)



①趣味／特技
ジョギング、サイクリング、登山
②2023年の抱負
浄化槽検査に慣れ、一人前の検査員になる！
③自己PR・メッセージ
法定検査部の井上智文と申します。
身体を動かすことが好きで、最近は公園遊びや登山にはまっています。
浄化槽検査を通じ、水環境の保全に貢献していきます。
ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。

お知らせ板

令和4年度 浄化槽技術講習会の開催について

当協会では、浄化槽の製造、施工、保守点検及び清掃実務者の技術力向上を目的とした「令和4年度 浄化槽技術講習会」を、新型コロナ対策等を行ったうえで下記内容にて開催致します。

講習会は、全体研修と専門研修に分けて開催致します。なお、本講習会は「熊本県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例」第9条第5項に規定する「浄化槽の保守点検の業務に関する研修」に該当する講習会として開催します。

1. 日時 令和5年2月15日(水)午後1時～午後4時45分(受付:正午～)

2. 場所 熊本県庁:本館地下大会議室・本館801号会議室

◆全体研修◆(会場:本館地下大会議室)

演題:「最近の浄化槽行政について」(仮)

講師:環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課
浄化槽推進室 室長 沼田正樹 様

演題:「浄化槽設置に伴う事務手続き等について」(仮)

講師:熊本県 土木部 建築住宅局 建築課

演題:「熊本県における浄化槽の設置状況と手続き等について」

講師:熊本県 土木部 道路都市局 下水環境課



◆専門研修◆

●分科会1(製造・施工関係)(会場:本館801号会議室)

演題:「浄化槽の設計・施工上の運用指針の解説について」

「災害により被災した浄化槽の修理及び使用再開の判断ポイント等について」

講師:(一社)浄化槽システム協会 技術委員会副委員長 足立清和 様

●分科会2(維持管理関係)(会場:本館地下大会議室)

演題:「中大型浄化槽の制御盤の基礎知識について」

「新型浄化槽のトラブル事例と新型コロナ等の感染症への対応について」

講師:(公財)日本環境整備教育センター 調査・研究グループリーダー 仁木圭三 様

創立50周年・公益法人移行15周年記念式典の開催について

協会の節目を祝うとともに関係者への感謝を表し、今後の健全な協会発展を祈念する行事として「創立50周年・公益法人移行15周年記念式典」の開催を予定しております。

記念式典の内容等につきましては、常務会を中心に検討を進めております。開催内容が決定しましたら、会員の皆様へは改めてご案内致しますのでよろしくお願い致します。

開催日:令和5年11月21日(火)

開催場所:熊本ホテルキャッスル